

## 関係者が語る「復興の現状と今後」

## 福島酸素社長 伊藤俊一氏

をステージにした障害者を持った人との音楽祭「とっておきの音楽祭」の運営をはじめ、地元の祭りなどへの応援を行っている。

1948年の創業から70年以上にわたり、日本大震災から10年の地域に根差した事業を節目に、地域の現状と展開してきた福島酸素（福島県福島市）。「安心と信頼を届けるの経営理念のもと、「医療」「産業」「くらし」に直結するガスとその関連機器などを販売してきた。

◇ ◇

この10年の間、地元へ就職する生徒は少なくなっている。以前の「中小企業は規模を基準とするのではなく、人と自然と地域を大切に」ということについても、2019年4月に「中小企業は規模を基準とするのではなく、人と自然と地域を大切に、地域に根ざし、地域と繋がりに、地域に根ざし、地域と共に継承・発展する」「地域企業」である」とする地域企業の持続的発展の推進に関する条例を施行した。

伊藤俊一社長は、長期間にわたり高圧ガスの保安に関し顕著な功績を残した保安功労者として、2020年に高圧ガス保安経済産業

大臣表彰を受けた。東日本大震災から10年の節目に、地域の現状と今後の見通しを聞いた。

溶接関連業界を担う次世代の人材育成を考えると、生徒が工業科だと、生徒が工業科だからものづくりなど間口を狭くするべきではなく、学校では生徒に

対し、生きていくこと

に欠かせない「働く」活動として毎年、街中



伊藤俊一社長

当社では以前から、地域とのつながりを重視し、地域に根差した人材を育て地域を盛り上げていきたい。

今後とも「地域企業」として、次世代を担う人材を育て地域を盛り上げていきたい。